

令和5年度

## 学校教育

大将軍小学校の子どもを教職員の総力で育てる

### 真の愛情とは

教師としての子どもへの愛情というものは、私の手から離れて、一本立ちになった時に、どういうふうに人間として生きていけるかという、一人で生きていく力をたくさん身につけさせさえすれば、それが幸せにしたことであると思います。つけられなかつたら、子どもを愛したとは言えないと思います。親も離れ、先生もいなくなつた時、子どもは一人でこの世の中を生きぬいていかなければなりません。力がなかつたら、いかにみじめかと思います。平常の、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりするのに事欠かない、何の抵抗もなしに、それらの力を活用していけるように指導できていたら、それが私が子どもに捧げた最大の愛情だと思います。

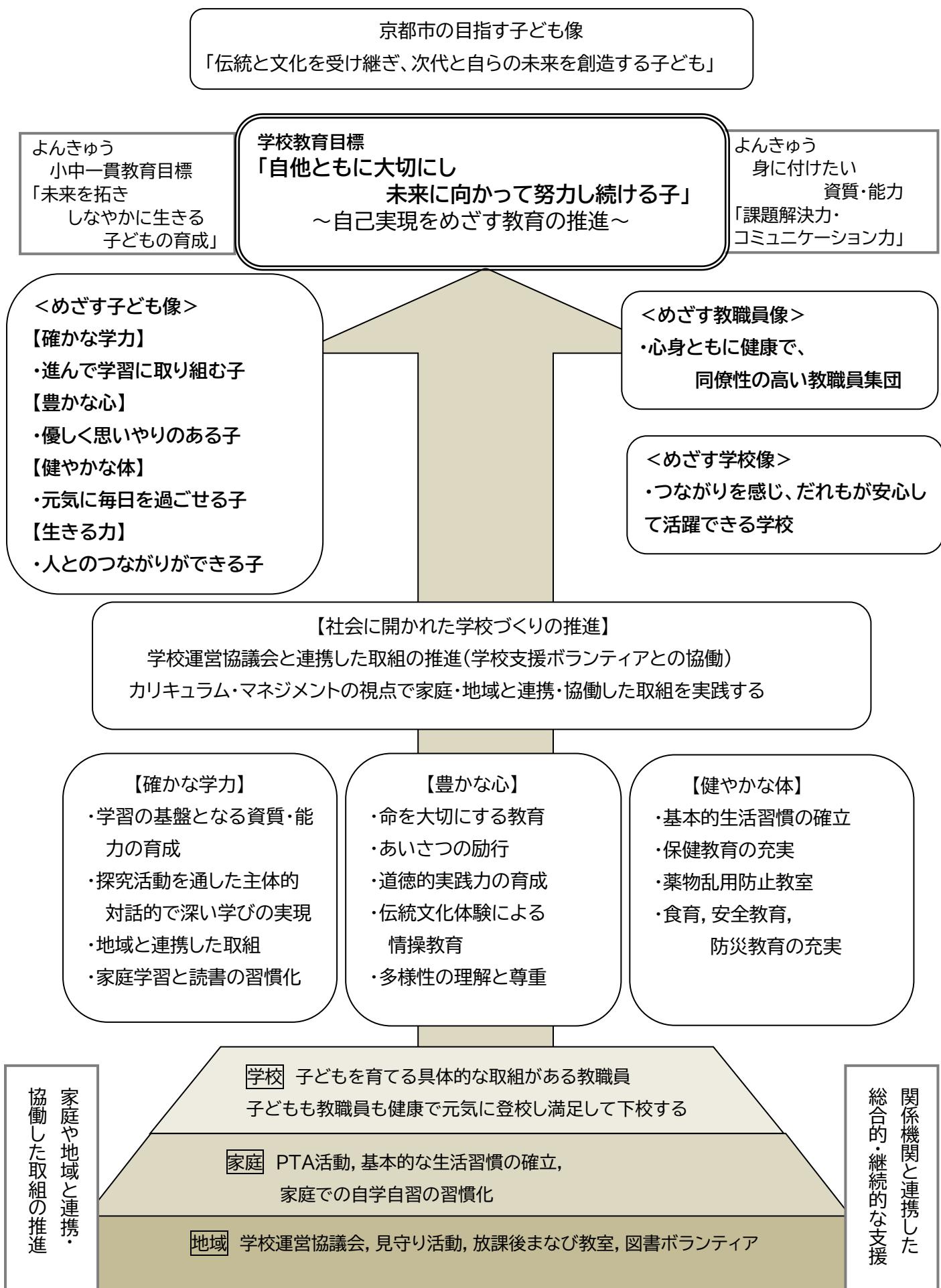
職業人に徹することは、子どもが一人で生きぬくために、どれだけの力があつたらよいか、それを鍛えぬこうとするのが、教師の愛情だと思いますし、本当に鍛えぬく実力が教師の技術だと思います。

子どもをかわいいと言うのでしたら、子どもが一人で生きる時に泣くことのないようにしてやりたいと思います。一人で生きる時に、不自由なく、力いっぱい生きていける、そういう子どもに生きていかなければ子どもは不幸です。子どもを不幸にするようなことをしていて、愛情をもっていたなどと言ってみてもどうなりましょう。

大村 はま 「人と学力を育てるために」より

令和5年4月3日

京都市立大将軍小学校



## 学校運営で最も重要な柱 子どもの命を守りきる

- ・子どもが自らの命を断つこと、また、学校事故等により子どもの命が失われることは絶対にあってはならない
- ・いじめや薬物乱用をはじめとする問題行動、虐待、不登校、子どもの困りについて、ささいな兆候や懸念であっても校内で報告・相談をし、情報の共有と行動の一元化を徹底する
- ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を迅速かつ組織的に行う
- ・けがや体調不良は本人への丁寧な対応と保護者へ確実で早期の伝達を行う
- ・防災教育を展開する中で、子どもに自然災害に関する知識を身に付けさせるとともに、危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する

### 【重視する視点】

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

### 【具体的な取組】

「確かな学力」進んで学習に取り組む子

#### (1)社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善

- 学びの約束やルールの明確化(大將軍授業スタンダードの活用)
- カリキュラム・マネジメントの視点で教科横断的に資質・能力を培う
- 学校評価や各テストの結果集計・分析・手立ての構築と共に理解  
\*全国学力テストやジョイントプログラム等の結果の活用

#### (2)基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実

- 学習の基盤となる、言語能力・情報活用能力・問題発見、解決能力 の育成
- 調べ学習、観察・実験、レポートの作成等の活動を適宜取り入れる
- 学習課題(めあて・目標)に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底

#### (3)探究活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現

- 自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決しようとする過程を大切にした探究活動の推進

「豊かな心」優しく思いやりのある子

#### (1)人権教育の充実

- 「なかまの日」の継続と充実(授業参観やホームページ、学校だより等を通して、なかまの日の取組を発信する)

#### (2)規範意識の育成

- あいさつの励行(会釈ではなく声を出して)
- 問題行動に対して「社会で許されない行為は学校においても許されない」という毅然とした姿勢で指導を徹底する
- 積極的に家庭に協力を求める
- 子ども同士が正義感をもって指摘し合える風土を醸成する
- 情報モラル学習を通して「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」の指導を行う

## 「健やかな体」元気に毎日をすごせる子

### (1) 基本的生活習慣の確立

- 家庭との連携、生活チェック表の活用

### (2) 保健教育の充実

- 病気やけがに対する原因や予防策を正しく理解し、自ら判断して行動できるような指導を行う

### (3) 飲酒・喫煙・薬物に関する指導

### (4) 安全教育の充実

### (5) 食に関する指導の推進

## 「生きる力」人とのつながりができる子

### (1) 学校運営協議会「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす

### (2) カリキュラム・マネジメントの視点で外部と連携する教育活動を計画する

### (3) 学校支援ボランティアの依頼・連携

## **継続した取組 積極的な生徒指導「自己指導能力の育成」**

- 生徒指導の実践上の4つの視点「自己決定の場の提供」「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「安全・安心な風土の醸成」を授業場面や生活場面で意図的に取り入れる
- 教育相談の充実(保護者との連携)

- 「個別の指導計画」に基づいたきめ細やかな支援

- LD等通級教室設置校としての強みを生かす

- UDを意識した過ごしやすい学校・学級づくり

- 計画的・組織的な育成学級との交流学習

- 関係機関との連携